

両園が設立されますと、利用者のニーズに応じた柔軟な対応ができる態勢が整えられます。また、建設費、運営費を含め、法人や国、県による財源を活かしながら実施できることで財政的にも効率であり、市にとつては、大きなメリットであると考えますので、開園に向けた方向で進めてまいります。

### スポーツ振興の環境整備について

**問** 体育センターの一般（無料）利用について。

**答** 利用には、貸切利用と一般利用の2区分があり、前者は有料、後者は無料となり悪質な例として貸切利用の申し込みをしており、後日キャンセルして一般利用するケースがあるので指定管理者と調整して、関係する条例や規則などの見直しに向けて進めてまいります。

**問** スポーツ施設の安全管理と健康増進について。

**答** 今後に必要な整備や安全対策は、指定管理者と調整・連携し計画的に進めてまいります。現役のまちづくりの推進や医療費の抑制にスポーツメニューの充実や指導者の育成を推進して市民の健康づくりに繋げていく取り組みを考えていきます。



鷲見 宗重 議員

### 再生可能エネルギーの推進について

**問** 地球温暖化対策を市民の力を借りる意味でも、太陽光発電施設設置の補助条件を緩和する方向で考えるべきでは。

**答** 再生エネルギーを否定しているわけではありません。平成21年の時から瓦の葺き替えまたは増築等に伴って、補助している分には1キロ5万円の補助をしていまして、他市と同等レベルの制度でやっていますので、理解をお願いいたします。

**問** 屋根貸して公共施設に太陽光発電施設の設置は。

**答** 現時点では計画はありません。屋根貸しでの太陽光発電も有効な手段の一つとして認識しておりますが、他市では貸付期間20年間と設定されており、築後長年経過した施設が多い本市ではいささか疑問を抱く面もあります。先進事例を分析していきます。

### 公共施設のあり方検討について

**問** 公共施設のあり方検討委員会で年間、約13億円を圧縮して、5・2億円とする提案がありました。福祉や教育の予算を削られることにならないか。

**答** 本市が確保できる投資的経費が年平均5・2億円となりました。指摘のありました事態にならないようにするために計画づくりを行っておりますのでご理解を。

### 防災行政について

**問** 災害時の情報伝達は万全か。

**答** 災害時でありますので不測の事態も予想がされます。現在、進めております同報系防災行政無線などの整備により、当市の災害時、緊急時の情報発信機能は、各段に充実をいたします。

**問** 海水を淡水化する装置を、市で購入して、災害時の飲料水を確保してはどうか。

**答** 平成25年度から平成27年度の3年間で、浄水機を7基、市内の小中学校に各1基、配備する計画となっております。なお、配備します浄水機は、河川やプールの水をろ過するタイプを予定しております。

### 愛知の優れた福祉医療を守れ



内藤 とし子 議員

**問** 愛知県は県のシンボルの制度である子ども、障がい者、母子父子家庭、75歳以上の寝たきり・認知症など高齢者を対象に市町村と共同で実施している福祉制度を見直すといっている。見直し素案は、①通院1回300円入院1日100円②通院1日500円入院1日500円③通院入院とも1カ月1医療機関で500円の3案がでていると承知している。市民への影響は。

**答** 県はまだはっきりした結論は出ていない。平成23年度決算で子ども医療費7478人、高齢者福祉医療563人、障がい者医療477人が受給者です。

**問** すべての精神疾患に対する医療費を無料にするとか子ども医療費を18歳まで無料にするという点についてはどうか。子ども医療費111万人、高齢者の福祉医療費145万人等が対象となっているかけがえのない制